

今週（12月26日から1月6日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

12月26日から1月6日のインターバンク市場は、大手行を中心に調達ニーズの強い展開となった。無担保コールO/N物は、26日は▲0.06%程度の出合いが中心となっていたものの、日を追うごとにレート水準は上昇し、30日の5日積みでは、大手行からの調達ニーズが一段と強まり、▲0.02%近辺での出合いが中心となった。年明け後の1月4日から5日は、様子見姿勢の先もあり、レート水準はやや低下し▲0.04～▲0.035%近辺での出合いとなったが、6日は週末4日積みとなった事で、再び大手行を中心に取り上がる先が増加する展開となった。

ターム物は、ショートターム物を中心に▲0.05～▲0.02%近辺での出合いが散見された。O/N物の金利上昇を受け、ターム物金利もやや上昇する展開となった。

日銀の当座預金残高は、501～504兆円程度での推移となった。

また、12月29日に公表された2年物の共通担保資金供給オペが、予定通り1月4日に10,000億円でオファーされた。その後、5日と6日に各20,000億円でオファーされた。

●レボ市場

GC T/Nの出合い水準は、12月26日から30日までは概ね▲0.18～▲0.08%程度と、ワイドレンジとなった。年明け後の1月4日から6日は▲0.10～▲0.085%となり、オファーとビッドが拮抗し、年末のボラティルな展開から一転し、落ち着いた推移となった。

SCは、12月26日から30日はロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。1月4日から6日は、10年債のカレント近辺の銘柄にビッドの出入りが多く見られた。

●短国市場

12月26日から30日の短国市場は、年末を控え参加者が限られる中、特段のイベントもなく、閑散としたマーケットとなった。引値は全ゾーンで横ばい圏での推移となる中、3M物のカレント銘柄で少額の出合いが見られた。

1月4日から6日は、3Mゾーンのレートが上昇する展開となった。

5日に実施された3M物の入札は、やや弱めの結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは、落ち着いた展開となった。6日に実施された6M物の入札は、按分落札利回りと平均落札利回りが離れる結果となり、やや甘めの結果となったが、同程度の残存期間の利付債に比べると強めの結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは堅調な推移となった。

●CP市場

12月26日から30日のCP市場は、年末・年初の発行にあたり、電気機器・卸売・鉄鋼・機械等の複数の業態から大型発行が行われた。市場残高は、23日まで29兆円台と過去最高圏での推移となっていたが、26日以降は四半期末要因により減少し、30日には25兆円程度となった。

1月4日から6日は、期越え発行を控えていた先からの発行が再開し、卸売・鉄鋼・石油等、幅広い業態から大型発行が行われたものの、営業日数が少なかった事もあり、週間の発行総額7,400億円に対し、償還総額は9,400億円と償還超のマーケットとなった。市場残高は、12月末に25兆円程度まで減少したものの、期明け後は再度活発な取り組みが見られ、足元では26兆円台後半まで増加してきている。

発行レートは、引き続き0%から浅いプラス圏での出合いが中心となったが、3月の年度末越えの案件では投資家に慎重な姿勢も見られた。

CP等買入オペ、27日に事前予定通り4,000億円でオファーされた。結果は、按分レートは0.002%、平均レートは0.012%と、前回比で按分は上昇し、平均は低下となった。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（%）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・%）	東京レポレート（翌日物・ T+1スタート・%）	日銀当座預金残高 （億円）
12/26（月）	26,405.87	0.440	132.50	△ 0.062	△ 0.122	5,021,900
12/27（火）	26,447.87	0.459	133.18	△ 0.053	△ 0.095	5,036,300
12/28（水）	26,340.50	0.450	133.90	△ 0.047	△ 0.092	5,035,300
12/29（木）	26,093.67	0.445	134.03	△ 0.033	△ 0.153	5,025,800
12/30（金）	26,094.50	0.410	132.56	△ 0.022	△ 0.094	5,024,900
1/2（月）						
1/3（火）						
1/4（水）	25,716.86	0.455	130.96	△ 0.038	△ 0.096	5,017,400
1/5（木）	25,820.80	0.500	132.05	△ 0.039	△ 0.095	5,044,400
1/6（金）	25,973.85	0.500	133.64	△ 0.015	△ 0.095	5,006,600

来週（1月10日から1月13日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
1/9 (月)	成人の日				11月の米消費者信用残高
1/10 (火)	11月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 12月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)	TB3M 60,000億円 1/11発行			11月の米卸売売上高
1/11 (水)	12月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 11月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)	30Y 9,000億円 1/12発行	交付税借入 13,000億円 1/19借入		
1/12 (木)	日銀支店長会議 さくらレポート(=地域経済報告) 11月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 12月の景気ウォッチャー調査(内閣府)				12月の米消費者物価指数 12月の米財政収支
1/13 (金)	12月のマネーストック(日銀 8:50) 11月の特定サービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30)	TB3M 60,000億円 1/16発行	5Y 25,000億円 1/16発行	エネルギー 対策借入 6,400億円 1/20借入	1月のミシガン大消費者信頼感指数速報

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
1/9 (月)	成人の日								
1/10 (火)	2,700	▲ 24,800	▲ 22,100	国債買入 国債補完 全店共通 CP買入	25,700 ▲ 100	24,100 20,000	69,700	47,600	TB6M発行▲45,000償還24,000
1/11 (水)	3,000	▲ 5,000	▲ 2,000	全店共通	▲ 4,700		▲ 4,700	▲ 6,700	TB3M発行▲60,000償還56,000
1/12 (木)	3,000	▲ 20,000	▲ 17,000				0	▲ 17,000	源泉税揚げ 30Y発行▲9,000
1/13 (金)	2,000	▲ 1,000	1,000				0	1,000	
週 間 合 計	10,700	▲ 50,800	▲ 40,100	—	20,900	44,100	65,000	24,900	

1/10は日銀予想、1/11以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、引き続き積み最終日に向けた積極的な調達が見込まれ、無担保コールO/N物のレート水準は高めに推移する事が予想される。債券レポGC O/N物は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、積み期終盤にかけて資金調達ニーズが高まると思われ、▲0.09～▲0.08%程度の水準で推移する事が予想される。短国市場は、10日と13日に3M物の入札実施が予定されている。また、12日に実施が予想される短国買入オペは、1,000億円程度が見込まれる。CP市場は、11日にCP等買入オペが予定されており、結果が注目される。

主要なイベントは、国内では、10日に12月の都区部消費者物価指数、12日に日銀支店長会議・さくらレポート、海外では、12日に12月の米消費者物価指数などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等を負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入